

PRESS RELEASE

2023年5月30日

アッヴィ、10周年の節目を迎え、これまでの実績および2022年の日本の業績を発表
—2030年までに売上高倍増を目指す

- 2022年の製品売上高は、1,001億3,600万円*。2013年比1.67倍
- 従業員数は2013年比2.43倍の1,500人超
- 10年間(2013-2022)で6つの新製品を発売、28の既存製品の追加承認を取得しポートフォリオが拡充
- 臨床試験数は2013年比5.9倍の82試験に増加。申請タイムラインが加速し、同時申請5件(2020年以降)を達成
- 免疫疾患(免疫学)とがん(腫瘍学)を中心に、精神・神経疾患などパイプラインが多様化し、今後の成長に寄与
- 発売15周年を迎え信頼と実績を有するヒュミラ[®]に加え、リンヴォック[®]、スキリージ[®]の新成長エンジンも合わせて、免疫学領域でのリーダーシップを強化
- オンコロジー領域では、血液がんに加え、固形がんの開発にも注力
- マーケットリーダーとして引き続きC型肝炎撲滅を加速

*日本法人決算の製品売上高。2022年は、ロイヤルティ収入も含む

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は本日、日本の2022年の業績、2023年以降のフォーカス、開発の進捗、および今後の展望について発表を行いました。

2022年の売上高は1,001億3,600万円でした。新生児領域の製品の販売移管、C型肝炎撲滅に向けた市場の縮小および薬価改定の影響などのマイナス要因があったものの、プラス成長を達成しました。昨年のマイルストーンとして、免疫学、肝疾患、精神・神経疾患領域で、製造販売承認および追加承認を取得し、新剤形も発売しました。

開発における成果として、臨床試験数は2013年比5.9倍(2013年14試験 vs 2022年82試験)となりました。今後も迅速な開発を行い、小児から成人まで幅広い患者さんおよび医療従事者のアンメットニーズに応えていきます。

2013年の事業開始以来、10年が経ち、製品売上高は1.67倍、従業員数は2.43倍へと急成長しました。主力製品としてはヒュミラ[®]を含む2製品からのスタートでしたが、10年間で6つの新製品



の上市、既存製品の追加承認は 28 と、患者さんに次々と新たな治療選択肢を届け真の Patient Centricity を実現してきました。現在、免疫ロジック(3 製品)、ウイルス感染症(3 製品)、精神・神経疾患(2 製品)、オンコロジー(1 製品)の領域で医薬品を提供しており、今後さらにポートフォリオの拡充が期待できます。

また、自分らしくいられる環境で一人一人がベストのパフォーマンスを発揮できる文化の構築や柔軟な働き方の推進にも注力し、結果として、社員エンゲージメントは向上し、第三者機関からの評価も高まってきました。2021 年からは公平、平等、ダイバーシティ&インクルージョン(EED&I)をさらに推進するため、経営戦略としてジェンダー、ジェネレーション、プライド、アビリティの 4 つのテーマに注力し、従業員リソースグループ(ERG)を中心に全社で取り組んでいます。ジェンダーの取り組みでは、女性従業員の割合が目標である 30%を達成しています。

社員のボランティア活動は、2014 年の南三陸へのボランティアツアーから始まり、2015 年には全世界で展開しているボランティア活動 Week of Possibilities (WoP)を日本でも開始。児童養護施設での科学教室から始まった WoP も今ではプログラムが拡充され、これまでの参加延べ人数は 750 人近くとなりました。今後も、疾患啓発活動や、地域社会や環境保護への貢献を通じて、医薬品にとどまらない、未来に続くインパクトを社会に生み出す取り組みを行っていきます。

社長のジェームス・フェリシアーノは次のようにコメントしました。「この 10 年間、患者さんに革新的な治療選択肢を届け、Patient Centricity を具現化し、急成長を続けてきました。アッヴィの未来はこれまで以上に明るく、これからも、無限の可能性に満ちた未来に向かって、患者さんや地域社会のために可能性を実現すべくまい進してまいります」

承認・発売マイルストーン(2022 年 1 月～2023 年 5 月 26 日まで)について

スキリージ®

2022 年 9 月: 既存治療で効果不十分な中等症から重症の活動期クローン病の治療薬として以下の製造販売承認を取得

- スキリージ®点滴静注 600mg (2023 年 1 月発売)
- スキリージ®皮下注 360mg オートドーズ(2023 年 2 月発売)

2023 年 5 月: 既存治療で効果不十分な中等症から重症の掌蹠膿疱症の治療薬として適応追加承認を取得

リンヴォック®

2022 年 5 月: 既存治療で効果不十分な強直性脊椎炎の治療薬として適応追加承認を取得

2022 年 9 月: 既存治療で効果不十分な中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療薬として適応追加承認を取得

2022 年 11 月: リンヴォック®錠 45mg 発売



2023年2月：既存治療で効果不十分なX線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎の治療薬として、適応追加承認を取得

マヴィレット®

2022年6月：C型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善の効能・効果で

- ▶ マヴィレット®配合顆粒小児用：3歳以上12歳未満かつ体重45kg未満の小児の適応で製造販売承認を取得（11月発売）
- ▶ マヴィレット®配合錠：3歳以上12歳未満かつ体重45kg以上の小児の適応で追加承認を取得

ヴィアレブ®

2022年12月：レボドパ含有製剤を含む既存の薬物療法で十分な効果が得られないパーキンソン病の症状の日内変動（wearing-off現象）の改善で製造販売承認を取得

※各製品の効能・効果/用法・用量は製品添付文書をご参照ください。

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。患者さん一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、ウイルス、消化器疾患、さらにアラガンエステティックスポーツフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[Instagram](https://www.instagram.com/abbvie)、[YouTube](https://www.youtube.com/abbvie) や [LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,500人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。免疫疾患、肝疾患、精神・神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの人生を豊かにしたいと願い、日々の業務に取り組んでいます。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie) や [YouTube](https://www.youtube.com/abbvie) でも情報を公開しています。